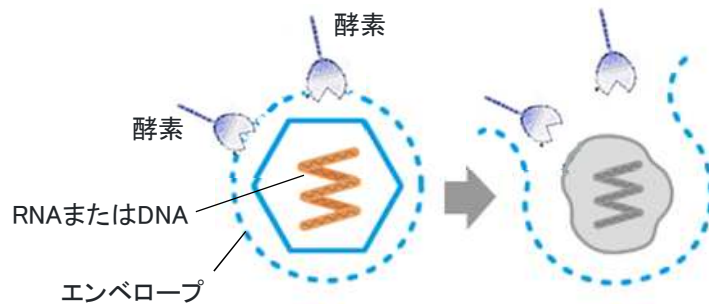


抗ウイルス(酵素担持) ヴァニツシュフィルタ



フィルタのろ材に担持した酵素によってウイルスのエンベロープが破壊され、ウイルスが不活化

(JISに準拠した抗ウイルス性試験による効果であり、実使用空間での実証結果ではありません)

特長

- フィルタろ材上に担持した天然の溶菌酵素が捕集したウイルスのエンベロープを破壊し、ウイルスを不活化
- 天然の酵素を利用していることから安全性にも優れ、また、ウイルス不活化において酵素自体は消費されないため長期間(3年以上)にわたりその効果を持続
- フィルタ交換時などの感染力のあるウイルスとの接触による感染リスクを低減

用途

- 医療施設の空調用
- 感染対策陰圧フィルタユニット用
- 研究施設の空調用

ウイルス不活化試験

1. 試験試料 酵素ろ材
2. 試験概要
 - (1)試験項目 抗ウイルス性試験
 - (2)試験方法 JIS L 1922:2016 繊維製品の抗ウイルス性試験方法に準拠
 - (3)測定方法 プラーク測定法
 - (4)試験ウイルス Influenza A virus: A/Hong Kong/8/68(H3N2) ATCC VR-1679

3. 試験結果 <対照試料>

区分		感染価 対数値	減少値 Log(Va)-Log(Vb)
標準布	接種直後	Log(Va) 6.86	1.4
	24h反応後	Log(Vb) 5.43	

<試験試料>

区分		感染価 対数値	抗ウイルス 活性値[Mv] Log(Vb)-Log(Vc)
酵素ろ材	接種直後	Log(Va) 6.86	3.1
	24h反応後	Log(Vc) 2.30	

【JIS抗ウイルス効果】 $3.0 > Mv \geq 2.0$: 効果あり,
 $Mv \geq 3.0$: 十分な効果あり

